

INGING NEWS PAPER



2019 Vol.03

INGING MOTORSPORT
OFFICIAL WEBSITE OF PAPER



雨と強風、 荒天の 第二戦。



Race Report

Round.2 AUTO POLIS 5/19 Final 決勝 2019年5月19日 オートポリス

NEXT RACE ▶▶▶▶▶▶▶▶
ROUND3. SUGO 6/22-23

TAKE FREE Support by © cyber net
株式会社 サイバーネット



ウェットとグレースーニング

Race Report

決勝 2019年5月19日 オートポリス 天候:雨のち晴れ / コース状況:ウェット・ドライ

8時45分にセッションがスタート、40分間の公式予選となった。ヘビーウェットのコンディションで、視界不良、スピンするクルマが今日も相次いだ。開始6分10秒、39号車トップ、39号車4番手のタイムを出したところで、12番手2位がアクシデントに見舞われ赤旗が提示された。セッションを再開するも、再開4分40秒で再び赤旗。5分後に再開するも、開始3分20秒で赤旗と、39号車の旗手が提示され、旗手が降足で行くアタックが出来なかった。そんな状況の中、かろうじてマークしたタイムで、38号車石浦は予選6番手、39号車坪井は、2番手と結果にフロントローを奪取した。ウェットに自信を持っていただけに、石浦にとって前回のタイミングなどは、残念な予選であった。迎えた決勝、13時15分からのウォームアップ走行が始まるも、青空も見え始め気温も徐々に上がり、ドライコンディションでレースが行える状況になった。グリッドに隣り合ったクルマが競走していたタイヤは、38号車はメディアム、39号車はソフト、39号車石浦は、スタートで1周でメディアムからソフトに履き替え追い上げる作戦。坪井は、フロントローから逃げ切る作戦を取った。オンタイムで決勝(54周)がスタートすると、オープニングラップを終え38号車はヒットに向かった。その間に、15号車がコースオフLSCが導入された。そのタイミングで、想定外ではあったが、39号車もヒットに向かった。38号車は、ソフトタイヤに履き替え4番手、39号車はメディアムタイヤに履き替え5番手でコース復帰。そのヒットアウトした際に、エンジンストールして止まったクルマがヒットロードに押されて戻っている状況に遭遇。ヒットアウトで両車もロスしてしまった。その後、両車を進むも路上に倒れたクルマは、ヒットに入らず、突撃トップの39号車。ここまでは、特別に緊張はなかった。しかし、タイヤがグリップしなくなり、自前でフロントタイヤにささくれの症状が出ていることが見て取れた。チェッカーを受けるべくタイヤ交換の走りに石浦は奮闘した。そんな闘いも状況下で、23周目、1号車にパスされ5番手にダウン。この1号車は、既にヒット作戦を終わらせている為、この時点で突撃トップを譲ることとなった。その後、石浦は25周目、8号車にパスされ6番手としばらく苦しい状況が続く。45周目に5号車にパスされ7番手までダウン。残り3周で、全くグリップがなくなったという。なんとか先走し9位でチェッカーを受けた。一方、39号車は、SCとタイミングを併せてヒットタイムは悪くないものの、さすがにソフトタイヤ勢には太刀打ちできず。27周目、50号車、37号車にパスされ12番手、30周目、18号車にパスされ13番手までダウン。その後のレース終盤38号車からの延滞は見えきり、12位でフィニッシュした。雨天で、決して満足の行くコンディションではなかったが、少ないチャンスをもに、予選では上位名前を獲ってくれた2台。次は、ぜひ決勝で2台共上位でチェッカーを受けたい。次戦は、6月22日(土)、23日(日)、スポーツランド箱根(宮城縣村田町)で開催される。

Results

- #38 石浦 9位
- #39 坪井 12位

監督 立川祐路

ちゃんとした予選ができませんでした。うちは、早いヒットの位置に置きたいというのがあるから、雨に負けず、安全にレースを走るための準備は、決断に関しては、38号車は、戦略的には勝てるチャンスがあっただけに残念です。結果は、ヒットに入れて突撃トップを走らせることができたのが良かったです。金曜日夕方セッションで、雨は止まりましたが、クルマをうまくまとめられなかったですね。39号車に関しては、逃げられるようにソフトにしましたが、SCでメディアムに履き替えてしまったので、決勝は2台共に上位を獲えようという目標です。

#38 石浦 宏明

予選は、全員そうだし私もみんながちゃんとアタック出来ないまま残り、スリスのため予選だったと反省。セッション中の情報をもっと知らせて欲しいと運営側に要望を出しています。決勝は、お客様にとって天候回復は良かったと思います。ドライの作戦は、ここに来る前からエンジニアと決めて走りました。入電に準備してそれが実行できました。リスタートしてすぐ、フロントタイヤのグリップが保たれます。グレースーニングが目覚めもわかっていったので、無理すると終わってしまうので、タイヤをいたわりながら走ったけど、どんたかたかしてしまい、残り3周でグリップが完全になくなりました。今回は、新しくチームとしても良いベースで走れませんでした。原因を調査しているので、次のレースに勝てるようにしたいです。

坪井 翔 #39

予選は、雨だったので昨日の走行の状況よりも非難が出るだろうと予想していました。車は違ったけど、運のない予選となりました。車検が表示された周回に出したタイムは持論になってしまっているので、またアタックすると、今度は状況が悪く完全にアタック出来ず結局2番手でした。雨でも違ったと思う。2戦目にして、フロントローに並ぶことは良かったと思います。決勝は、フロントローからのスタートだったので、ソフトを選択しました。セーフティカーのタイミングでヒットに入ったことが、全てだったような気がします。メディアムに替えた時点で、勝負がなくなる走りで行きました。ラップタイムは悪くなかったので、メディアムでスタートしていたらと思う。ちょっと悔しいですね。経験者の少なからずかもしれませんが、これも次に活かして頑張ります。